

小柳磨毅(編)

実践 PT ノート

福井 勉

文京学院大学保健医療技術学部理学療法学科

本書は、小柳磨毅教授を中心にスポーツ傷害の理学療法を専門としたグループが著した力作である。原型は学生資料だったとされているが、その中身は学生のみならず、若い理学療法士にも好評のようである。「総論」「運動療法の基礎」の章の後には、「肩関節と肩甲帯」「肘関節・前腕」「手関節・手指」「股関節」「膝関節」「足関節」「脊柱・骨盤」「運動連鎖」の関節別構成をとっている。そのため、どの章から始めても基礎学習に有益であるだけでなく、学習した内容を鳥瞰図的にチェックできる構成は、他書にはあまり見られない手法である。階段を1つひとつ昇って、進歩の度合いが明示されるような構成は、若い理学療法士が自己信頼をつかむ場面に適していると考えられる。

各関節ごとに「mobility の評価・治療」「stability の評価・治療」という内容が記されている。これは著者の長年の臨床経験から抽出されたものと考えられるが、各々の技術供覧に至るプロセスには多くの時間が費やされたことは想像に難くない。これらの技術蓄積

は、感性的賜物ともいえるであろうが、疾患の特徴だけでなく対象者の個性が考慮されていることを随所にうかがい知ることができる。

本書は「読破」する目的なら、多くの時間はかからないかもしれないが、タイトルにもあるように実践しながら確認して、自分のものにしていくためには非常に多くの時間を要すると思われる。添付されているDVDの質も高く、音声ガイドの説明も丁寧なので、独学にも向いているとも思われるが、特にお勧めしたいのは、若い理学療法士が周りの人と一緒に勉強をするときなどである。ぜひ、2人以上で確認しながら、実技を行うことを繰り返してほしい。すべての項目がイラストや写真入りで示されているうえに講義ノートモデルであるため、自分で書き込むことも可能である。各項目を足早に読み進めるだけではなく、確認した後に想像力を駆使して他の方法を開発しようと考えてほしい。そのようにインスパイアされることも本書の特徴と考えられ、講義や仕事時間の後に数か月の時間を使って、ぜひ自分の技術にしてほしい。本書は机上で読む本ではない。ベッドサイドで読み、ボロボロになるまで使ってほしい好著である。

●A4判 194頁

定価 4,725 円(本体 4,500 円+税 5%)

2007 年 三輪書店・刊